

授 業 科 目 名	美術史				
担 当 教 員	須藤弘敏・足達薫				
学 期	前期	曜日・時限	月曜日 5/6	単 位	2 単位
地域志向科目	該当 する ・ <u>しない</u>				
<p>【授業としての具体的到達目標】 国内外の美術史の諸問題を専門的に研究し、修士論文を執筆するために必要な能力（文献資料の読解および視覚的作例の分析等）をマスターすること。</p>					
<p>【授業の概要】 国内外の美術史を取り上げ、その諸問題を演習形式により考察する。文献資料の読解および視覚的作例の分析を通じて、美術史研究の基礎を身につける。</p>					
<p>【授業内容予定】 受講希望者の専門領域および関心に応じて、東洋・日本美術史、西洋美術史のいずれかを対象として開講する。受講希望者は、第1回目の授業開始前に指導教員に受講希望を申し出ること。それを踏まえて当該学期の開講形態および担当教員を決める。 受講者には、文献資料の読解を中心とする発表が毎回義務付けられる。以下の内容を適宜調整し、組み替えながら15回行う。 今年度は、東西の「人体表現」を主題として展開する、</p> <p>1 導入（担当：足達・須藤） 2～6 美術史の方法論および分析方法についての基礎的講義（担当：足達・須藤） 6～15 文献資料の読解（担当：足達・須藤）</p>					
<p>【教材・テキスト】 授業で指示する。</p>					
<p>【参考文献】 授業で指示する。</p>					
<p>【成績評価の方法および採点基準】 出席および発表の内容を総合的に判断する。</p>					
<p>【授業形式・形態および授業方法】 文献資料の読解を中心とする発表、およびそれについての議論。</p>					
<p>【留意点・予備知識等】 国内外の美術史の基礎的な知識が前提となる。扱う範囲は広いので、古今の日本語のみならず、中国語や西洋の諸言語の能力も必要である。</p>					
<p>【オフィスアワー】 水曜13～14時（足達薫）</p>					

